公表

事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス) 令和6年12月現在

○事業所名	放課後等デイサービスほっぷ・すてっぷ			
○保護者評価実施期間 		2024年12月11日	~	2024年12月28日
○保護者評価有効回答数 	(対象者数)	33	(回答者数)	33
○従業者評価実施期間		2024年12月11日	~	2024年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日		2025年1月20日		

○ 分析結果

		事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
		・時間割に沿った活動の切り替えを利用児童全体の	・事前の声掛けや、図示による説明、繰り返しの実	・個別の声掛けの調整や、時には状況を変える事
		動きとして行え、学校を基準とした集団生活に順応	施を行う。	により、変化の中でも指示にしたがって行動出来
	1	出来るよう細やかな支援が出来る。	・個々の特性や状況に応じて相談し、折り合いをつ	るようにしていく。
			けて、一人ひとりが集団活動に参加出来るよう支援	
			する。	
ſ		・利用児童が楽しく過ごす事が出来る。	・利用児童の気持ちに寄り添い、安心して過ごせる	・個々の好みやニーズを調査しながら、時にはス
			ようにやり取りを行う中で、色々な活動や遊びを通	タッフと、時には他の利用児童とも楽しく関わる
	2		して楽しめるように関わりを行う。	事が出来るように仲介を行い、新たな経験に繋が
				るように、色々な活動や遊びの提案を行う。
Γ		・学習の取り組みを個別にサポートし、個々の状況	・現在、学校からの宿題や、持参した課題の取り組	・利用児童ごとの学習内容について、職員間で情
		に応じた課題の達成を支援出来る。	みについて、まずは取り組みの様子を見守り、得意	報を共有し、どのスタッフもサポートに入れるよ
	3		な部分、苦手な部分の確認を行い、利用児童本人や	うな体勢を整え、学校の宿題の他、WISC等の検査
			保護者と相談の上、その都度、補助を行う。	結果に伴う適切な説明や、教材の提供を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
	・緊急時のマニュアル等、各種マニュアルの内容に		
	ついて、利用児の保護者より質問を受ける場面があ	ているが、その後のマニュアルの説明の機会を定期	いて、希望調査を行い、要望があれば、いつでも
1	り、保護者へマニュアルの内容や所在の周知徹底が	的には設けておらず、保護者へ情報が行き届いてい	返答出来るように準備を改める。
	行き届いていない状態である。	ない。	
	・日頃の利用時の様子等、利用者ごとに伝えきれて	・帰りの際に、迎えに来て貰う場合や、送迎で自宅	・限られた時間の中でも、情報伝達が行えるよう
	いない状況である。	等に向かい、一度に複数の利用児童を送迎する関係	に、日々の活動や、利用児童の様子等を端的に伝
2		上、状況によっては、あまり、時間が取れず、伝え	えられるように改めて意識する。
		きれていない状況がある。	
	・事業所の指導教室の区切りが無く、1室で全ての	・利用児童が納得して過ごしやすい環境を整える事	・出来る限り、要望に応えられるように、調整
	利用児童が、一緒に過ごす事となっており、曜日に	を目指しているが、教室内のスペースの区切りや、	や、相談を行い、スタッフ一丸となって支援を行
3	よっては、利用児童間の学年差が大きく開いてい	利用人数、学年の違い等により、全ての利用児童の	う。
	る。	要望に答えきれない場面もある。	